

このリストは、<sup>としょかん</sup>図書館の<sup>しよくいん</sup>職員が、<sup>ねんせい</sup>3・4年生のみなさんに  
<sup>よ</sup>読んでほしい本を<sup>ほん</sup>選んだものです。

しながわとしょかん 品川図書館	きたしながわ 北品川 2-3 2-3	☎3471-4667
ふたばとしょかん 二葉図書館	ふたば 二葉 1-4 2-5	☎3782-2036
えぼらとしょかん 荏原図書館	なかのぶ 中延 1-9 1-5	☎3784-2557
みなみおおいとしょかん 南大井図書館	みなみおおい 南大井 3-7 1-3	☎3761-6780
げんじまえとしょかん 源氏前図書館	なかのぶ 中延 4-1 4-1 7	☎3781-6273
ゆたかとしょかん ゆたか図書館	ゆたかちよう 豊町 1-1 7-7	☎3785-6677
おおいとしょかん 大井図書館	おおい 大井 5-1 9-1 4	☎3777-7151
ごたんだとしょかん 五反田図書館	にしごたんだ 西五反田 6-5 1	☎3492-2131
おおさきとしょかん 大崎図書館	おおさき 大崎 2-4 8	☎3495-0660
やしおとしょかん 八潮図書館	やしお 八潮 5-1 0-2 7	☎3799-1414

<sup>きゆうかんび</sup>休館日、<sup>かいかんじかん</sup>開館時間などは、<sup>かくとしょかん</sup>各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、<sup>ひょうしえしやう</sup>各出版社の<sup>かくしゅつぽんしや</sup>許諾を得ています。

2015 . 10 <sup>ほつこう</sup>発行

# よんでみたいな！

<sup>ねんせい</sup>3・4年生



「<sup>せんそう</sup>レモネード戦争」

ジャクリヌ・デイヴィーズ <sup>さく</sup>作  
<sup>ひなた</sup>白当 <sup>ようこ</sup>陽子 <sup>やく</sup>訳 <sup>おぐり</sup>小栗 <sup>れいか</sup>麗加 <sup>え</sup>絵  
フレーベル館 <sup>かん</sup>

しながわくりつとしょかん  
品川区立図書館

せかいじゅう おきなわ  
『世界中で沖縄にしかない飛べない鳥 ヤンバルクイナ』  
えぐち よしてろ しやしん ぶん  
江口 欣照 写真と文  
しょうがつかん  
小学館



おきなわしま  
沖縄島に「やんばる」とよばれる森が  
あり、いろいろな生き物がくらしています。  
その森で「新種」を発見。その鳥こそ  
そがヤンバルクイナでした。

ヤンバルクイナは、とてもおくびょう  
で飛ぶこともできません。  
はたしてどんな鳥なのでしょう？

にんぎょう  
『げんきなぬいぐるみ人形ガルドラ』

モドウィナ・セジウィック さく  
たが きょうこ やく おおこ社 れいこ え  
多賀 京子 やく 大社 玲子 え  
ふくいんかんしよてん  
福音館書店

ガルドラは、じょうずにつくられた手  
づくりの人形です。

ある日、もちぬしの女の子、メリー  
ベルが乳母車にのせて、小川へおさんぽ  
につれていってくれました。ところが、  
乳母車がたおれて、ガルドラは小川にな  
がされてしまいます。はたしてガルドラ  
は、メリーベルのところへ帰ることがで  
きるのでしょうか。



『アラビアン・ナイトのおはなし』  
なかがわ まさふみ ぶん あかば すえきち え  
中川 正文 ぶん 赤羽 末吉 え  
しよてん  
のら書店



みんなが知っている「アラビアン・ナ  
イト」の3つのおはなし。

ペルシアのある町にカシムとアリバ  
バという兄弟がいました。兄のカシム  
はお金もち。いっぽうアリババはびんぼ  
うで、毎日森で木をきって、家族をやし  
なっていました。ある日、森へ行くと  
四十人のとうぞくがあらわれて…。

ひみつ なのかかん  
『ぼくとテスの秘密の七日間』

アンナ・ウォルツ 作 のざか えつこ やく  
きたむら さとし 絵  
え  
フレーベル館

10歳の男の子サミュエルは、家族  
と出かけたテッセル島で、1歳年上の  
女の子、テスと出会う。テスには、父親  
がいなかった。

テスは、誰にも内緒で、父を探し出し、  
呼び出す計画をたてた。

サミュエルは、テスの秘密の計画に手  
を貸しますが…。



## 『アヤカシさん』

とみやす ようこ さく のみやま きょうこ が  
富安 陽子 作 野見山 響子 画  
福音館書店



ケイとメイおばさんには、ある秘密があります。それは、他人には見えないものが、見えてしまうことです。

ある日、メイおばさんに鍵の精霊のおじいさんがピタリついてきました。「アヤカシ」と名のる、おじいさんに誘われて、世にも奇妙な体験をしていくふたりでしたが…。

## 『日本昔ばなし 仙人のおしえ』

おざわ としお 再話 かないだ えつこ 絵  
くもん出版

わかものは、目の見えない母親と二人で暮らしていました。わかものは、母親の目が見えるようにしてやりたいと神仏にいのっていました。

ある夜、わかものに、「仙人世界にいて、仙人におねがいしてみよ」という夢のおつげがありました。そこでわかものは、さっそくじゅんぴをして、仙人世界をさがしにでかけます。



## 『にせあかしの魔術師』

そや きよし さく はやし あきこ え  
征矢 清 さく 林 明子 え  
復刊ドットコム



タケシは学校の帰り道に、にせあかしの林の中で、ぶくぶく音のする水の中に、黒曜石を投げこんだ。すると、とつぜん魔術師があらわれ、「おまえのせいで魔術が失敗した。仕事を手伝わないと家に帰さない。」と言われてしまう。タケシの仕事は、にせあかしの葉から夜つゆをあつめることだった。

## 『草と木で包む』

U. G. サトー 文と絵 後藤 九・酒井 道一 写真  
福音館書店

昔の人は自然の中にある、草や木を使って、食べるものを包むことを考えます。笹の葉で水あめやあん入りもちを包んでみたり、わらや枯れ草で納豆を包んでみたり…。工夫をすれば、卵だって包めるのです。

さあ、どんな包み方をしているのかみてみましょう。



## 『どうしてトウモロコシにはひげがあるの？』

藤田 智 著  
少年写真新聞社



トウモロコシの種をまくと、おばなとめばなが出ます。おばなからは花粉が、めばなからは毛（ひげ）が出てきます。実はこのひげの正体は、花粉を受けるめしべだったのです。だからひげが多いほど、実の数も多くなるのです。

この本を読むと、知っているようで本当は知らない、やさしいことがいろいろとわかります。

## 『レモネード戦争』

ジャクリーヌ・デイヴィーズ 作  
ひなた 陽子 訳 小栗 麗加 絵  
フレーベル館

兄のエヴァンと妹のジェシーは、ジェシーの飛び級がきっかけでけんかをしてしまう。そこでエヴァンは、友だちのスコットと、レモネードスタンドを作り、道ばたで売り始めます。すると、近くでジェシーもレモネードを売り始めました。二人は、レモネードの売り上げで勝敗をつけることに。



## 『ライオンのひみつ』

マーガレット・ワイルド 文

リトバ・ボウティラ 絵  
木坂 涼 訳  
国土社

としよかんのいりぐちにすわる、いしでできたライオン。こわいかおをしているので、こどもたちはちかづきません。でも、サラだけはライオンにくっついて、なくことさえありました。

ゆきのふるあるばん、サラがライオンのまえにたおれこんでしまいます。そのときライオンは…。



## 『石の卵』

やまだ ひではる ぶん しゃしん  
山田 英春 文・写真  
福音館書店

「ドラゴンの卵」といわれる石の球を知っていますか？この石をまっぴたつに切ると、トゲトゲしたふしぎなもようがあらわれるのです。「ドラゴンの卵」は、どうやってできるのでしょうか？

世界各地で取ることのできる「ドラゴンの卵」や「雷の卵」のめずらしい写真をぜひみてください。

